

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	デイサービスセンターなかま					公表日	2025年3月10日			
					利用児童数	22名		回収数	22名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	1		人数に対して狭いと思う。	ガイドラインでは、子ども一人あたり2.47㎡の床面積相当とされており、基準を満たした十分なスペースが確保されています。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	10	1	2	現在、何人いらっしゃるのかわからない。何人が適切かわからない。	規定人数以上の職員を配置しています。福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	5			エレベーターで三階に行っているのが災害などで使えない場合はどうするのか。	事業所内外に二か所非常階段が設置されていますので、それを使用し災害時避難等いたします。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	4				感染症対策としてアルコール消毒、換気、日々の清掃を徹底しています。			
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	4	1		専門性のある職員が少ない。	当事業所ではリハビリ等は行っておりませんが、職員が多様な研修等を受講し専門性を高めています。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2		3		現時点では未公表の時期（時間）となっています。現在、支援プログラム公表に向け取り組み中です。			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1				計画は職員全員で話し合い、複数の視点で反映されるようしています。今後も保護者の皆様のニーズや子供たちの発達に寄り添った支援計画の作成に努めたいと思います。			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		3	ガイドラインが分からない。	ガイドラインについては厚生労働省のホームページ内で掲載されています。計画はそのガイドラインに沿った内容で、分かりやすく作成しています。			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1		1		児童ひとり一人の個別支援計画をたて、それに沿って支援を行っています。			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			4		課題内容を少しずつ変化させたり、発展させたりしながら、一人ひとりが楽しく活動できる内容になっています。			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	5	2	8		現在は実施していませんが、ご家族のご希望があれば検討致します。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	1			契約時に説明しており、常時確認できるよう整備されています。支援プログラムは現在作成中です。			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					子どもたちの事業所での様子を伝えながら、今後の目標や支援内容をお伝えしています。			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	6	3	3		実施していません。			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	1	1		日々の子どもの状況をお伝えし、新たな課題に対しては保護者の方に相談したうえで支援を行っています。			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	1			支援方法等を職員間で話し合いお伝えしています。			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1		1		完全な理解は得られていませんが、概ね理解・支援は得られています。			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	4	6	4	8	何か、長期休みなどの時に保護者も一緒に参加できるイベントがあったらいいと思う。	今後、保護者の皆様に確認しながら茶話会等の開催を検討していきます。			
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	7				その都度相談等は受け付け、職員間で共有し回答していることが周知の事実ですので、特別な体制はとっておりません。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	6				今後も、個々に配慮した情報伝達の方法を検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	1	3		月一回、通信を通して写真を掲載し、子供たちの活動の様子をお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	3		2		適正な取り扱いに留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	6	4	3	事故対応がひどかった。職員全員がマニュアルを理解し、その通りに動けなかった。訓練していないのが分かった。	訓練の重要性は感じているので、年二回の避難訓練の他にも訓練を実施していきたいと考えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	5	2	5	一年に一回でもいいので避難訓練を実施してほしい。	年二回の定期的な避難訓練を実施しています。子供たちが一緒に参加できる日時を検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	6	2	1	年末の事故の時「事故の説明は出来ないが、預かれなくなった」としか言われなかった。当事者には速やかな連絡があったのか？	当事者には早急に連絡し状況の説明を行いました。今後事故発生等緊急の場合には、ご家族に速やかに連絡すると共に細やかな詳細をお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	2	1		事故等（怪我等含む）が発生した際には、保護者の方に状況等を迅速に連絡させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	2		1	前より嫌がらずに行けるようになりました。	子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる場であるように、職員間及び保護者の皆様と話し合い、支援方法や活動内容を検討していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	5			友達もできたようで、よい刺激になっています。	今後も、子どもたちの発達状況や障害特性に応じ、様々な遊びや体験活動の機会を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	4				職員一人ひとりの支援の質の向上を図り、充実した活動内容でよりよい療育ができるよう努めています。